

第三部理工系人材育成分科会（第26期・第1回）議事要旨

日 時：2025 年 5 月 29 日（木）12：00－13：00

場 所：オンライン開催

出席者：伊藤由佳理、内田誠一、沖大幹、奥村幸子、尾崎由紀子、北川尚美、三瓶政一、下田吉之、関谷毅、高木周、常行真司、堀利栄、宮崎恵子、岸村顕広、関根千津、（第三部事務局）

議 事：

- 1) 分科会役員選出
- 2) 部会での議論の報告
- 3) レポート案について
- 4) その他

配布資料：

資料1 理工系博士人材育成分科第1回

資料2 第三理工系人材育成WGに関する部会での議論メモ

資料3 博士人材育成レポート目次案 v2

議 題

（1）分科会役員選出（委員長・副委員長）

- ・委員長に奥村委員を、副委員長に関谷委員を選出した。

（2）部会での議論の報告（資料2）

- ・資料2をもとに関谷委員より4月部会での人材育成に関する議論を紹介。
- ・岸村委員より情報共有：第7期科学技術・イノベーション基本計画関連の会合で、経済同友会が博士人材活用にフォーカスした提言が紹介された。博士後期課程学生とポスドクに対する経済支援イメージが提案されている。

スライド：<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kihon7/6kai/shiryo4.pdf>

本文：<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kihon7/6kai/sanko4.pdf>

・沖委員より、ドラフトをまとめるにあたり、深めるべき理系ならではの、学術会議ならではの論点を整理した方がよいとの提案があり、各委員からの意見が述べられた。論点は大きく5つあり、①公的支援の在り方、②学生側の意識、③大学教育側/アカデミア側の意識、④企業側の意識、⑤博士人材の重要性・必要性、とまとめられる。

(3) レポート案について(資料3)

- ・奥村委員より資料3を簡単に説明。
- ・博士人材に関する企業への調査に関連して、関谷委員より以下が報告された。アクションWGで産業界の声を取り入れる活動の中で、産業界で求められる博士人材が社内でそのように活躍しているかについて第三部会員で東芝の佐多先生がCTOネットワークを用いてお調べいただいている。

(4) その他

- ・沖委員より、限られた時間で実施されるので、次回は、直前でもよいので焦点を絞って意見を寄せてもらうようにするとよいとの提案があった。

以上